

への情熱のあふれるお話しぶりでした。スケールの大きい素晴らしい人柄に触れ、聞き手の3人（天気編集委員：饒村 曜、江藤隆儀、高瀬邦夫）は、しばらくはその余韻をかみしめるが如く席を立たずにいました。

なお、図は先生が筆者の拙い図をわざわざ書き直して下さったものです。

（文責：気象庁予報課 高瀬邦夫）

1988年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」の研究助成受領候補者の推薦依頼について

三宅泰雄教授退官記念事業として、創立された（1972年）地球化学研究協会は、その翌年から地球化学に顕著な業績をおさめた科学者に、毎年地球化学研究協会学術賞「三宅賞」を贈呈しています。

さらに1983年からは、あらたに、地球化学の若手研究者で海外シンポジウム等に出席し、論文を発表する者に対し、助成を行っています。

なお、三宅賞の賞金および研究助成金は本協会を母体として、1983年に新設された公益信託「地球化学研究基金」（受託者東洋信託銀行株式会社）から贈られます。

つきましては、下記の要領により、受賞候補者および研究助成受領候補者のご推薦をお願いします。

記

三宅賞

1. 本賞は地球化学に顕著な研究業績をおさめた科学者に贈呈します。
2. 本賞は賞状とし、副賞として賞牌および賞金（30万円）をそえます。
3. 本賞の贈呈は、1年1件（1名）とします。
4. 同封用紙に受賞候補者の推薦対象となる研究題目、推薦理由（400字程度）、主な論文10編程度に略

歴をそえて、協会事務所までお送り下さい。

研究助成

1. 研究助成は地球化学の若手研究者で、海外のシンポジウム等に出席し論文を発表する者に対して、行われます。
2. 助成金は1件10万円とし、年に3件とします。
3. 同封用紙に研究助成受領の推薦対象となる若手研究者（各締切日において満40歳までとする）の略歴、研究業績、助成金使用の目的、出席予定の国際会議名（開催年月日、開催場所）、発表予定論文題目推薦理由等を記入して、協会事務所までお送り下さい。

三宅賞の贈呈および研究助成受領者の発表は、1988年12月3日東京で行います。

申込締切日は三宅賞は、1988年9月5日（月）・研究助成は、第1回締切1988年9月5日（月）、第2回締切1989年1月末日。

地球化学研究協会

〒166 東京都杉並区高円寺北 4-29-2-217

TEL. 03-330-2455